

(第1期)

和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括

第1期総合戦略の総括

(1)第1期総合戦略に掲げる「数値目標」及び「KPI(重要業績評価指標)」の達成状況

第1期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）では、9つの『基本目標』を設定し、その実現に向け「数値目標」と「KPI」の2種類の目標値を掲げ、地方創生にかかる取組みを推進してきました。

『基本目標』ごとの目標値の達成度等については、次のとおりです。

【基本目標Ⅰ】「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
合計特殊出生率	1.37 (H25年度)	1.27	1.6	0.0%
安心して子育てができる環境が整っている と思う市民の割合	41.8% (H25年度)	55.2%	50.0%	100.0%
社会動態（転入者数－転出者数）	+1人	+353人	均衡	100.0%

<KPIの達成度>

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1)結婚・出産の希望を かなえる環境づくり	観光カップリングツアーの年間参加者数	30人	29人	80人	0.0%
	転入を促進するための取組み数	—	1件	3件	33.3%
	妊婦健康診査の利用率	88.0%	84.8%	90.0%	0.0%
(2)子どもたちの健やかな 発育の支援	乳幼児健康診査受診率 (4か月児、1歳6か月児、 3歳6か月児健康診査)	93.0%	94.6%	94.0%	100.0%
	日本脳炎、BCG、麻しん・ 風しんの接種率	91.0%	95.7%	93.0%	100.0%
	子ども医療費助成の拡大	(通院)小学3年生まで (入院)中学3年生まで	(通院)中学3年生まで (入院)中学3年生まで	(通院)中学3年生まで (入院)中学3年生まで	100.0%
	子育て支援総合案内窓口の設置	—	1か所	1か所	100.0%
	年間保健指導数	11,174件	13,707件	11,600件	100.0%
(3)子育てと仕事の両立 支援体制の充実	保育所等入所待機児童数	29人	44人	0人	0.0%
	留守家庭児童会の待機児童数	0人	0人	0人	100.0%

<達成度を踏まえた総括>

- 「子ども医療費助成の拡大」や「乳幼児健康診査の受診率向上」など、KPIに掲げた取組みを積極的に推進してきたことが、数値目標である「安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合」の増加に繋がっているものと考えます。
- 一方、「合計特殊出生率」については下降しました。これまでの本市の「合計特殊出生率」は、大きく上下する傾向があるため、継続的な上昇傾向を実現するには、相当の期間を要すると考えられ、取組みの充実を図りながら継続することが重要であると考えます。

- 「社会動態」については、トリヴェール和泉への入居者数が堅調に増加していることから、転入超過となっています。
- 「保育所等入所待機児童数」については、民間認定こども園の新設や建て替えの支援に積極的に取り組み、平成31年4月の保育定員は、平成26年4月と比較して437人増加したものの、共働き世帯の増加による保育ニーズの高まり等により、待機児童の解消には至っていません。

【基本目標Ⅱ】一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
和泉市人材データバンクへの登録人数	32人	61人	50人	100.0%
生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合	33.5% (H25年度)	32.8%	50.0%	0.0%

<KPIの達成度>

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1)知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成	各種生涯学習講座等の年間参加者数（和泉市コミュニティセンター、和泉シティプラザ、和泉市生涯学習サポート館、和泉市立青少年の家）	40,034人	43,979人	44,000人	99.5%
	いずみ市民大学における年間受講者数	—	625人	650人	96.2%
	成人教室の年間修了者数	102人	38人	140人	0.0%
	図書館年間入館者数	908,576人	961,786人	937,000人	100.0%

<達成度を踏まえた総括>

- 平成28年度に「教養学部」と「まちづくり学部」で構成する『いずみ市民大学』を開設し、年間受講者数は、概ね目標を達成できています。その結果、地域で活動する「和泉市人材データバンク」の登録人数は目標値を上回るなど、生涯学習の輪を広げることができています。
- しかしながら、「生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合」を向上させるまでには至っておらず、引き続き、取り組みの充実を図ることが必要です。

【基本目標Ⅲ】健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
国民健康保険にかかる医療費の総額に占める生活習慣病にかかる医療費の割合	34.7%	32.8%	30.0%	40.4%
要介護認定を受けていない後期高齢者の割合	68.2%	68.4%	70.0%	11.1%

<KPIの達成度>

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) 定期的な健康チェックの推進	がん検診受診率（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん）	19.3%	21.8%	32.0%	19.7%
	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備群の割合	29.0%	30.0%	27.0%	0.0%
	「ヘルスアップサポーターいずみ」の年間地域活動回数	1,137回	1,981回	1,380回	100.0%
(2) 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進	住民自主グループによる介護予防体操参加者数	—	1,425人	2,278人	62.6%
	認知症予防教室の参加者数	78人	287人	525人	46.8%
	老人クラブの登録者数	14,536人	13,408人	17,924人	0.0%

<達成度を踏まえた総括>

- 特定健康診査の受診率は向上（平成26年度36.9%⇒平成30年度39.7%）しているものの、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合」を引き下げるまでには至っていません。今後、地域で健康づくりを推進する健康づくりボランティア「ヘルスアップサポーターいずみ」の積極的な活動を通じて、市民の健康意識の醸成を図りつつ、がん検診や特定健康診査の効果的な受診勧奨に努めるとともに、メタボリックシンドロームの該当者等への特定保健指導について、効果的な利用勧奨とさらなる内容の充実に取り組めます。
- 介護予防等にかかる取組みについては、目標値には達しなかったものの、福祉等の関係機関との連携により参加者数は増加傾向にあり、広がりをみせています。なお、老人クラブの登録者数については減少傾向にあるものの、高齢者の自主的な活動を継続的に支援することが必要です。
- 「数値目標」に掲げた2項目については、目標値には至りませんでした。少しずつ取組みの効果が現れているものと考えられ、がん検診等の受診率向上や介護予防の推進など、健康寿命の延伸に向け、粘り強く取り組むことが必要です。

【基本目標Ⅳ】活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
新技術、新製品事業化の延べ件数	—	3件	2件	100.0%
創業セミナーの受講者による商店街における創業件数	4件	7件	6件	100.0%
年間新規就農者数	5人	1人	6人	0.0%
和泉市就職情報フェア、和泉市無料職業紹介における就職者数（平成27年度～令和元年度）	—	542人	570人	95.1%
市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	19.3% (H25年度)	23.8%	25.0%	78.9%
市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	16.8% (H25年度)	19.7%	25.0%	35.4%

＜KPIの達成度＞

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) ものづくり産業の振興	国等のものづくり補助金採択の延べ件数	—	0件	4件	0.0%
	新技術、新製品事業化に向けた連携研究の延べ件数	2件	8件	22件	30.0%
(2) 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出	創業セミナーの延べ受講者数	92件	390件	500件	73.0%
	商店街加入店舗数	177件	373件	177件	100.0%
	テクノステージ和泉における企業の立地割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	トリヴェール和泉西部地区における企業の立地割合	63.6%	100.0%	90.0%	100.0%
(3) 産業として成立する農林業の確立	道の駅における生鮮農産物の年間販売額	94,240千円	100,322千円	104,000千円	62.3%
	道の駅における加工品の年間販売額	42,712千円	34,237千円	47,000千円	0.0%
	農業体験交流施設の年間利用者数	31,500人	41,527人	35,000人	100.0%
	森林経営計画に基づきいすもくの年間搬出材積	689 m ³	0 m ³	750 m ³	0.0%
(4) 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成	大学等と連携した中小企業のための個別相談の延べ件数	3件	15件	20件	70.6%
	認定農業者数	77人	76人	85人	0.0%
	和泉市就職情報フェアの年間就職者数	28人	16人	38人	0.0%
	和泉市無料職業紹介センターにおける年間就職者数	65人	103人	90人	100.0%

＜達成度を踏まえた総括＞

- 商工業については、「テクノステージ和泉」及び「トリヴェール和泉西部地区」の企業立地割合がいずれも100%となったほか、新たな商店街組合が結成されたことに伴い、国の地方創生関連交付金を活用したイルミネーション等の各種イベントの開催に取り組んだことにより、企業や商店の集積が進み、まちの賑わいが創出されたことで、「市内の商工業に活力があると感じる市民の割合」が上昇したものと考えます。
- 農林業については、地方創生関連交付金を活用し、6次産業化（農業経営者が農産物の生産から加工・販売等を一体的に行う事業形態）の促進に向けた環境整備や担い手の育成等に取り組んだほか、市内産木材のブランド化を推進したものの、現時点においては、数値目標やKPIを十分に押し上げるまでには至りませんでした。今後においても、取組みの充実や見直しを図りつつ、農林業の活性化に向けた取組みの推進が必要です。
- 就労支援については、近年の有効求人倍率の上昇やインターネット等による求人情報の取得手段の多様化により、相談者数は減少傾向にあるものの、数値目標やKPIは概ね目標を達成することができました。今後においても、取組みの充実を図り、安心して働くことができる環境整備を進めます。

【基本目標V】新旧の魅力が融合する観光の振興

＜数値目標の達成度＞

指 標	基準値 (H22年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
年間観光客数	949,029人	1,362,431人	1,600,000人	63.5%

＜KPIの達成度＞

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) 地域資源を活用した観光産業の振興	いずみの国観光おもてなし処の年間来館者数	7,825人	20,386人	16,000人	100.0%
	国史跡池上曾根史跡公園、国史跡和泉黄金塚古墳ほか府、市史跡の年間来訪者数	118,000人	85,775人	160,000人	0.0%
	いずみの国観光おもてなし処の外国人年間来館者数	73人	91人	140人	26.9%
	モニターツアーの実施延べ回数	－	16回	20回	80.0%
(2) 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進	宿泊施設の延べ誘致数	－	1件	3件	33.3%
	久保惣記念美術館の年間来館者数	24,770人	32,639人	29,000人	100.0%
	南部リージョンセンター道の駅年間利用者数	154,505人	145,098人	177,000人	0.0%

＜達成度を踏まえた総括＞

○観光施策については、平成28年2月に策定した「和泉市観光振興戦略プラン」に基づき、和泉市久保惣記念美術館を中心に概ね半径約2km圏内を『和泉・久保惣ミュージアムタウン』と位置づけ、「美術館のあるまち」としてブランド化を図るべく、地方創生関連交付金を活用し、パブリックアートの設置や各種イベントの開催等の取組みを推進してきました。

○その結果、和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内の主要施設への来訪者数や数値目標である「年間観光客数」は増加しましたが、「年間観光客数」の目標値を上回ることはできませんでした。

(参考) 和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内の主要施設への来訪者数

平成27年度 413,220人 ⇒ 平成30年度 432,266人

○今後、さらなる来訪促進を図るためには、池上曾根史跡公園をはじめとする観光資源となりうるものを最大限に活用しつつ、観光施設を周遊できる仕組みの構築に向けて取り組む必要があります。

【基本目標Ⅵ】 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
市内犯罪件数 (街頭犯罪・強制わいせつ件数)	1,312件	654件	1,250件 (約5%減少)	100.0%
高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合	27.9% (H25年度)	28.7%	50.0%	3.6%

<KPIの達成度>

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) 支援を必要とする人への相談支援体制の充実	地域出張型在宅医療介護セミナー年間受講者数	—	710人	420人	100.0%
	障がい者基幹相談支援センターと障がい者相談支援センターの支援実人数	1,254人	1,274人	2,000人	2.7%
	就労訓練事業・就労体験の延べ利用者数	—	13人	40人	32.5%
(2) 安心して生活できる防犯体制の整備	防犯カメラの延べ設置台数	64台	444台	300台	100.0%
	地域見守りの年間活動日数	243日	243日	243日	100.0%
	防犯教室・防犯啓発の年間活動回数	104回	105回	110回	16.7%

<達成度を踏まえた総括>

- 防犯体制の整備については、地方創生関連交付金を活用して防犯カメラの設置や小学校ごとに防犯マップを作成したほか、地域との連携による各種活動を継続することができていることもあり、全国的に犯罪件数が減少している中、本市域においても、犯罪件数は、大幅に減少しました。
- 障がい者が福祉サービスを利用するうえで相談支援を行う「特定相談支援事業所」が増加したことにより、障がい者基幹相談支援センター等の支援人数は、基準値から大きく増加しませんでした。しかし、「特定相談支援事業所」を含む市全体の支援人数は増加しており、支援体制は充実しています。

【基本目標Ⅶ】 災害に備える仕組みづくり

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
防災訓練の年間実施箇所数	14箇所	27箇所	21箇所	100.0%
地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合	18.1% (H25年度)	24.5%	25.0%	92.8%

<KPIの達成度>

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) 地域における防災体制の強化	防災リーダーの認定者数	50人	224人	100人	100.0%
	自主防災組織の設立数	36団体	65団体	76団体	72.5%
	支援者が避難行動要支援者名簿を活用して活動を行っている割合	—	41.9%	40.0%	100.0%
	多言語防災ガイド	—	3言語	3言語	100.0%

<達成度を踏まえた総括>

○近年、多発している自然災害により、市民の防災意識が高まっていることもあり、概ね目標値を達成することができました。

【基本目標Ⅷ】 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

<数値目標の達成度>

指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	数値目標 (R元年度)	達成率
町会連合会組織への加入率	63.0%	57.0%	66.0%	0.0%
町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合	42.3% (H25年度)	42.4%	50.0%	1.3%

<KPIの達成度>

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) コミュニティの活性化と担い手の育成	市民ラウンドテーブルにおける延べ参加者数	—	110人	200人	55.0%
	ちよいず投票率	12.3%	14.7%	16.0%	64.9%
	ボランティア年間需給調整数	206件	223件	250件	38.6%

<達成度を踏まえた総括>

○これまで、市民活動団体を支援する制度（愛称：ちよいず）の実施や市民活動センター（アイ・あいロビー）におけるNPOや市民活動団体等への支援に取り組んだほか、新たに住民が自分たちの地域について考える場として「市民ラウンドテーブル」を開催するなど、コミュニティの活性化に向けた取組みを推進してきました。

○しかしながら、「町会連合会組織への加入率」や「町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合」を押し上げることはできていないため、コミュニティの活性化に向け、今後も粘り強く取り組む必要があります。

【基本目標区】既存ストックの適正管理の促進

＜KPIの達成度＞

基本的方向	指 標	基準値 (H26年度)	実績値 (H30年度)	目標値 (R元年度)	達成率
(1) 既存ストックの適正管理の促進	道路橋の延べ修繕補修箇所数	23箇所	31箇所	38箇所	53.3%
	道路の延べ舗装修繕補修箇所数	—	10箇所	10箇所	100.0%
	未利用の普通財産（土地）における、未利用状態の解消割合	—	10.0%	50.0%	20.0%
	老朽化木造住宅及び耐震基準を満たさない市営住宅の建替による改修率	59.7%	61.4%	65.2%	30.9%

＜達成度を踏まえた総括＞

○今後、公共施設の老朽化に伴う維持管理や更新等に膨大な費用を要することが見込まれることから、財政負担の平準化等を図るべく、計画的な更新・長寿命化や最適配置に取り組んでおり、引き続き、公共施設を効率的に維持管理するための取組みを推進することが必要です。

(2)第1期総合戦略の総括

◆市民意識調査結果一覧

指 標	基準値 (H25年度)	実績値 (H30年度)	増減値	数値目標	達成率
安心して子育てができる環境が整っている	41.8%	55.2%	+13.4%	50.0%	100.0%
生涯学習の機会に親しめる環境が整っている	33.5%	32.8%	▲0.7%	50.0%	0.0%
市内の商工業に活力があると感じる	19.3%	23.8%	+4.5%	25.0%	78.9%
市内の農林業に活力があると感じる	16.8%	19.7%	+2.9%	25.0%	35.4%
高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っている	27.9%	28.7%	+0.8%	50.0%	3.6%
地震や台風等の災害に対する備えができています	18.1%	24.5%	+6.4%	25.0%	92.8%
町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れている	42.3%	42.4%	+0.1%	50.0%	1.3%

○「市民意識調査」による市民の実感度は、「安心して子育てができる環境が整っている」が大きく上昇するなど、概ね向上しました。

○しかしながら、目標を達成できた指標は1つにとどまり、また、依然として実感度が低い指標も多いことから、取組みの見直しを検討しつつ内容の充実を図り、さらなる実感度の向上に取り組まなければなりません。

◆指標達成状況一覧

基本目標		指標数	達成率			
			100%	50%以上 100%未満	50%未満 (0%を除く)	0%
Ⅰ 「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	数値目標	3	2	—	—	1
	KPI	10	6	—	1	3
Ⅱ 一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	数値目標	2	1	—	—	1
	KPI	4	1	2	—	1
Ⅲ 健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進	数値目標	2	—	—	2	—
	KPI	6	1	1	2	2
Ⅳ 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	数値目標	6	2	2	1	1
	KPI	14	5	3	1	5
Ⅴ 新旧の魅力が融合する観光の振興	数値目標	1	—	1	—	—
	KPI	7	2	1	2	2
Ⅵ 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	数値目標	2	1	—	1	—
	KPI	6	3	—	3	—
Ⅶ 災害に備える仕組みづくり	数値目標	2	1	1	—	—
	KPI	4	3	1	—	—
Ⅷ みんなで取り組む連携・協働のまちづくり	数値目標	2	—	—	1	1
	KPI	3	—	2	1	—
Ⅸ 既存ストックの適正管理の促進	KPI	4	1	1	2	—
合計	数値目標	20	7	4	5	4
	占有率		35.0%	20.0%	25.0%	20.0%
	KPI	58	22	11	12	13
	占有率		37.9%	19.0%	20.7%	22.4%

○第1期総合戦略に基づく平成30年度までの4年間の取組みにかかる目標値の達成状況は、「数値目標」・「KPI」のいずれも半数以上の指標が達成率50%以上となった一方、第1期総合戦略策定時の「基準値」を向上させることができなかった指標が、「数値目標」で20.0%、「KPI」で22.4%を占める結果となりました。

○本市の人口については、令和2年3月末時点で185,790人で、「和泉市人口ビジョン(平成27年12月策定)」で推計した『上位推計(186,000人)』と『下位推計(185,300人)』の間で推移しています。

○しかしながら、トリヴェール和泉の宅地分譲が終了した後は、「合計特殊出生率」が継続的な上昇傾向にない現状を踏まえると、目標とする『上位推計』の人口を確保することは、難しくなると想定されます。

○地域で住みよい環境を確保し、人口減少に歯止めをかけるべく取り組んでいる「地方創生」は、短期に実現することは困難であり、長期的視点に立って、継続的に取り組むことが重要であると考えます。

(参考1) 地方創生推進交付金事業の総括

事業名	1. 美術館を核とした賑わい創出・交流人口拡大事業		
担当課	いずみアピール課	交付金対象年度	平成 28 年度～平成 30 年度

<事業の目的>

○美術館を中心に他の魅力的なスポットを複合的にブランディングしていく「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を推進し、まちに新たな魅力を創出するとともに、新旧のまちの魅力を融合した観光の振興を図る。

<実施した取組と決算額>

取組名称	決 算 額 (千円)			
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	合計
(1) 和泉市・かつらぎ町広域観光路線実証実験バスの運行	549	2,385	2,577	5,511
(2) タウンマガジンの作成	—	999	2,861	3,860
(3) 各種イベントの開催	858	3,294	6,757	10,909
(4) パブリックアートの制作及び地元特産品の開発	—	8,829	25,275	34,104
(5) 和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムの運営	—	41	26	67
合 計	1,407	15,548	37,496	54,451

<KPIの達成状況>

KPI	基準値 (H27 年度)	目標値 (H30 年度)	実績値 (H30 年度)
①エリア内主要施設への来訪者 (人)	413,220	531,900	432,340
②和泉市久保惣記念美術館の年間来訪者数 (人)	23,161	28,000	32,639
③新規店舗等開業数 (件)	0 (H28 年度)	0 (参考:R2 年度 3)	1

＜K P I の達成状況にかかる要因分析＞

	要 因 分 析
K P I ①	○美術館の来館者数は増加したものの、「和泉・久保惣ミュージアムタウン」エリア内の他の観光施設に誘導する仕組みを構築するに至らなかった。 ○和泉市・かつらぎ町広域観光路線実証実験バスを運行したが、観光を目的とした需要を喚起することができず、利用者数は低調であった。
K P I ②	○各種イベントやモニタリングツアーでは、5,000人を超える参加者があり、美術館の来館者数の増加につなげることができた。 ○平成28年度以降、美術館の来館者数が増加傾向にあることを勘案すると、タウンマガジンの発行や各種イベントにより、美術館の周知が促進したと考える。
K P I ③	○市がコンテナハウスを設置し、飲食店等を誘致する当初の計画は、実施に至らなかったものの、エリア内に民間事業者による飲食店の出店を確認することができた。

＜取組による成果（取り組んだことにより把握できたことも含む）＞

- 美術館収蔵品をリライト（再描画）した壁画アート30作品と立体造形物3作品を制作し、エリア内の各所に設置したことで、エリア内を周遊できる仕組みを構築することができた。
- ミュージアムタウンの特産品として、和泉市産のお米を使用した日本酒や、いづもくを使用した酒樽、美術館収蔵品に関連したメダルを開発し、おもてなし処や美術館で販売することにより、エリアに新たな魅力を加えることができた。
- 広域観光路線バスを運行した結果、現時点においては、観光目的での利用ニーズが低いことを把握することができた。
- 地域住民やアーティスト等との協働体制を構築することができた。

＜交付金事業終了後の現況＞

- 久保惣記念美術館の来館者数が増加傾向にある。
(H26: 24,770人、H27: 23,161人、H28: 28,265人、H29: 43,925人、H30: 32,639人)
- 開発した特産品のうち、日本酒「大でき」の売上げは好調であり、販売即、完売状況である。
- 地元のイラストレーターによりエリア内の店舗の壁面にアート作品が描かれるなど、ミュージアムタウンとしてのブランディング化が進展している。
- 地域住民が有志でパブリックアート周辺の清掃を行うなど、地域活動への広がりが見られる。

＜成果を活用した今後の取組＞

- 交付金事業で作成したパブリックアートや特産品などを活用して、久保惣記念美術館や周辺の観光スポットとパブリックアートを巡る周遊イベントを開催する。
- 観光スポットを周遊するための交通手段として、好きな場所で乗り降りできるシェアサイクルの導入を検討する。
- K I X 泉州ツーリズムビューローや大阪観光局などの関係機関と連携し、パブリックアートや特産品など本エリアの魅力情報を発信する。

事業名	1. 美術館を核とした賑わい創出・交流人口拡大事業		
担当課	久保惣記念美術館	交付金対象年度	平成 29 年度

<事業の目的>

○美術館を中心に他の魅力的なスポットを複合的にブランディングしていく「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を推進し、まちに新たな魅力を創出するとともに、新旧のまちの魅力を融合した観光の振興を図る。

<実施した取組と決算額>

取組名称	決 算 額 (千円)			
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	合計
(1) 久保惣記念美術館ホームページ等の多言語化	-	5,972	-	5,972
合 計	-	5,972	-	5,972

<K P I の達成状況>

K P I	基準値 (H27 年度)	目標値 (H30 年度)	実績値 (H30 年度)
①和泉市久保惣記念美術館の年間来訪者数 (人)	23,161	28,000	32,639

＜K P Iの達成状況にかかる要因分析＞

	要 因 分 析
K P I ①	○著名作家等を題材にした展覧会や他の美術館と連携した魅力的な展覧会を開催したことにより、来館者数を増加させることができた。 ○ホームページ及び案内パンフレットの多言語化については、即効的な効果があるとは言いがたいものの、香港や日本語学校から団体客の来館があるなど、一定の効果が現れ始めているものとする。

＜取組による成果（取り組んだことにより把握できたことも含む）＞

- 久保惣記念美術館の英語版のホームページや6か国語（日・英・中・韓・仏・西）のパンフレットを旅行会社やホテルに配付し、外国人観光客に向けての周知を図った。
- 館内の案内板を4か国語（日・英・中・韓）表記としたことで、外国人観光客が利用しやすい館内環境を整えることができた。
- 久保惣記念美術館のホームページをリニューアルし、英語表記を加えたほか、スマートフォン表示に対応するなど、幅広い年代に閲覧いただけるサイトを構築することができた。

＜交付金事業終了後の現況＞

- 久保惣記念美術館の来館者数は、増加傾向にある。
(H26 : 24,770 人、H27 : 23,161 人、H28 : 28,265 人、H29 : 43,925 人、H30 : 32,639 人)
- 東京・京都・大阪等主要都市のホテルにて配架されている中国人観光客向けの新聞を発行している海外メディアから取材があり、H30年12月に久保惣記念美術館の記事が掲載された。

＜成果を活用した今後の取組＞

- 外国人観光客の受入れ環境の充実を図るため、新館の常設展示作品を中心に英語表記を行う。
- ホームページの解析ツールを活用して、どのような地域や国からのアクセス数が多いのかを把握し、美術館運営に反映させていく。

事業名	2. 新商店街におけるにぎわい創出事業		
担当課	商工労働室	交付金対象年度	平成 29 年度～令和元年度

<事業の目的>

○新たに設立された商店街組織「木楽座ストリート組合」のにぎわい創出につながる取組みを支援するとともに、小規模・個人経営者の育成、振興に取り組み、地域経済の活性化や沿道全体のブランド化、エリア価値の向上につなげ、インバウンドや交流人口の拡大を図る。

<実施した取組と決算額>

取組名称	決 算 額 (千円)			
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	合計
(1) まちの賑わい創出	18,319	9,559	4,319	32,197
(2) ホームページ及びスマートフォン向けアプリの制作・運用	7,743	2,035	1,200	10,978
(3) 地域コミュニティの創出	363	—	—	363
(4) 人材育成	720	402	—	1,122
合 計	27,145	11,996	5,519	44,660

※R元年度は、予算額。

<KPIの達成状況>

KPI	基準値 (H28 年度)	目標値 (H30 年度)	実績値 (H30 年度)
①他府県からの来訪者 (人)	—	15,000	950
②新規創業件数 (件)	—	5	5
③平成 28 年度対比のインバウンド買い物客数が向上した店舗数 (件)	—	13	1

＜K P I の達成状況にかかる要因分析＞

	要 因 分 析
K P I ①	○街バルやイルミネーションに取り組んだものの、市外への情報発信が十分ではなかったため、府外からの来訪者の増加につながらなかったと考える。 ○店舗情報やイベント情報を発信するために作成したホームページやアプリについて、アクセス数やダウンロード数を伸ばすことができなかった。
K P I ②	○街バルやイルミネーションなど、地域に新たな賑わいが創出されたことで、店舗の新規出店につながったと考える。
K P I ③	○インバウンド客数の増加を図るために、商店街関係者を対象としたインバウンド対策セミナーを開催し、インバウンド客への対応力強化を図ったが、客数の増加に繋がらなかった。 ○海外や関西空港での周知・啓発など、インバウンドの獲得に向けたプロモーション活動を行うには至らなかった。

＜取組による成果（取り組んだことにより把握できたことも含む）＞

- イルミネーションの設置や街バルの開催により、地域に新たな賑わいが創出された。
- 木楽座ストリートのホームページやアプリを作成し、店舗情報やイベント情報など各種情報を発信することが可能になった。
- 木楽座ストリートへの参加店舗数が設立当初の約 100 件から約 150 件に増加させることができた。
- 木楽座ストリート組合にインバウンド対策やイベント企画等を行う部会が設置されるなど、商店街が主体となって地域社会及び地域経済の活性化を推進するための組織体制が構築された。

＜交付金事業終了後の現況＞

- 令和元年度は、和泉市商店連合会が中心となり、市内の全商店街が参加するバルが開催される予定で、街バルの規模や期間を拡大する。
- 和泉中央線沿線の店舗数が 10 件増加した。
- 木楽座ストリート組合と地元小中学校との協働により、和泉中央線沿道やその周辺地域の緑化活動を実施するなど、地域活動が活性化している。

＜成果を活用した今後の取組＞

- 木楽座ストリートが、自立して街バルやイルミネーションを実施できるよう、市内商店街等との連携を促進するとともに、市ホームページや広報等で商店街の取組みについての情報発信を行う。
- 商店街の利用ニーズや人材不足など商店街が抱える課題を調査し、その結果を商店街と共有し、対応策の検討を行う。
- 各商店街が主催するイベントを支援することで、商店街の活性化に取り組む。
- 大阪府や商工会議所等の広域的に活動する団体との連携により、市外への情報発信強化を図る。
- インバウンドの増加を図るため、市内宿泊施設等との連携に取り組む。

事業名	3. 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業		
担当課	福祉総務課	交付金対象年度	平成 28 年度～平成 30 年度

<事業の目的>

○高齢者等を対象に日常生活で起こるちょっとした困りごとを支援・解決する「地域住民どうしの助けあいの活動」を促進・支援し、地域住民が住み慣れた地域で持続的に安心して暮らすことができるコミュニティの形成を目指す。

<実施した取組と決算額>

取組名称	決 算 額 (千円)			
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	合計
(1) ニーズ調査の実施	3,392	—	—	3,392
(2) みんなで取り組む地域づくり協議会の立上、運営等	189	230	273	692
(3) 地域住民どうしの助け合い活動の支援	—	838	991	1,829
(4) フォーラム及び研修の開催	—	236	—	236
(5) 事業報告書の作成	—	—	9	9
合 計	3,581	1,304	1,273	6,158

<KPIの達成状況>

K P I	基準値 (H27 年度)	目標値 (H30 年度)	実績値 (H30 年度)
①サービス利用者数 (人)	94	249	326
②高齢者雇用者数 (人)	23	75	75
③提供サービス数 (件)	8	60	37

< K P I の達成状況にかかる要因分析 >

	要 因 分 析
K P I ①	<p>○既存の活動団体において、提供サービスの充実が図られたほか、チラシ配布等による周知の強化に取り組んだことにより、サービス利用者数を増加させることができた。</p> <p>○本事業の補助金を活用して、新たに1団体（光明台北）が設立され、利用者数が増加した。</p>
K P I ②	<p>○既存の活動団体において高齢者雇用数が増加しており、チラシ配布等による周知の強化が、地域活動への賛同者の増加につながったものと考えられる。</p> <p>○新規活動団体が設立され、高齢者が地域で活躍できる場の創出につながった。</p>
K P I ③	<p>○代筆や庭木への水やりなど、比較的簡単な作業についてサービスを拡充できたものの、地域ニーズの高い子育て支援や移送サービスについては、責任や補償の問題で実現することができなかった。</p> <p>○研修やフォーラムを開催し、人材の確保やノウハウの蓄積に取り組んだものの、継続した支援を実施することができなかった。</p>

< 取組による成果（取り組んだことにより把握できたことも含む） >

- 地域の悩みや困りごと、地域が求めているサービスを把握することができた。
- 本事業の補助金を活用して、新たに1団体（光明台北）が設立された。また、本事業の補助金を活用していないものの、地域の団体が集まる「協議の場」やフォーラムでの呼びかけにより、新たに2団体（光明台南、横山）が設立された。
- 各地域団体の活動内容や設立の経緯、運営手法等を取りまとめた「事業報告書」を作成した。

< 交付金事業終了後の現況 >

- 新たに設立された活動団体においては、活動のルールや活動内容が定まり、サービス提供がスタートした。
- 既存団体においては、活動に対する地域の認知度が向上し、利用者数やサポーター数が増加している。
- 「みんなで取り組む地域づくり協議会」での活動を通して、これまで個々に活動していた団体に「つながり」が生まれ、団体同士で情報共有が図られている。

< 成果を活用した今後の取組 >

- 「協議の場」での呼びかけを継続し、事業報告書の活用により新規活動団体の設立を側面的に支援する。
- 市が、事務局として活動団体が集まる機会の創出を継続し、団体間の情報共有やノウハウの蓄積を促進させることにより、活動団体の提供サービスの充実や活性化を図る。

事業名	3. 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業		
担当課	道路河川室	交付金対象年度	平成 28 年度～平成 30 年度

<事業の目的>

○人口が減少している市南部地域（南横山）をモデル地区にして、地域と病院やスーパーマーケット、鉄道駅を結ぶデマンド型交通（乗合タクシー）の実証運行を行い、公共交通空白地域における移動手段としての有用性を検証する。

<実施した取組と決算額>

取組名称	決算額（千円）			
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	合計
(1) 南横山校区デマンド型交通実証 運行検証事業	—	3,562	1,998	5,560
合 計	—	3,562	1,998	5,560

<取組による成果（取り組んだことにより把握できたことも含む）>

- 約3ヶ月間のデマンド型交通の試行運行及びアンケート調査により、地元住民の利用実績や利用目的など、デマンド型交通の導入に必要なデータを取得することができた。
- デマンド型交通の効果検証として、利用者の意見や関係者の意向等を聴取したところ、外出頻度が増えた方や普段出かけない方の外出行動の促進につながったことがわかり、デマンド型交通の有用性を確認することができた。
- 既存路線バスの利用からデマンド型交通へ移行した利用者が一定数存在し、既存路線バスと競合することがわかった。

<交付金事業終了後の現況>

- 事業開始後、国から既存路線バス（交通事業者が国の補助を受けて路線の運行を維持しているバス）の利用者を減少させる可能性があるデマンド型交通を導入した場合、国の補助要件を満たさなくなる可能性について指摘されたことから、現時点においては、デマンド型交通の導入を見送っている。
※事業開始前に、国と調整していたが、事業開始後に国が利用者の増加をさらに図る方針に転換したため。

<成果を活用した今後の取組>

- 南横山校区における交通手段の確保策については、デマンド型交通の導入も含めて再度検討を行い、地域住民及び交通事業者等との合意形成を図りつつ、南部地域全体において持続性の高い地域公共交通ネットワークの構築に取り組む。

【参考2】第1期総合戦略におけるこれまでの取組み

【基本目標Ⅰ】「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

(基本的方向1) 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり

◆出会いの場の創出

- 旅行会社への委託により、「カップリングツアー」を開催

◆身近な出産・子育てサポート環境づくり

- 和泉市内で、親元近居の新婚世帯に対し、住居費等の一部を補助

◆妊娠・出産のサポート体制の充実

- 妊婦健康診査費助成を実施（全額公費負担）
- 特定不妊治療費助成を実施
- 「いずみまるごと子育て・健康応援事業」として下記の取組みを実施
 - ・訪問・電話による相談対応
 - ・乳児家庭全戸訪問
 - ・産後ケア事業（医療機関での指導・相談）
 - ・産前産後サポート事業（助産師による訪問、相談交流会の開催）
 - ・両親教室、親子教室の開催
 - ・子育て支援アプリの導入
 - ・子育て世代包括支援センターの設置
（子育て支援関係機関が連携し、妊娠期から切れ目のない支援を実施）

(基本的方向2) 子どもたちの健やかな発育の支援

◆乳幼児健康診査の充実

- 4か月、1歳6か月、3歳6か月の乳幼児に対して健康診査を実施
- 令和元年度から3歳6か月健診の際に、虫歯を予防するフッ素塗布を実施
- 健診従事者研修の実施

◆各種予防接種の充実と接種率の向上

- 各種予防接種（下記参照）を実施するとともに、受診率の向上を図るため、接種
勸奨通知等による啓発を実施

【予防接種】

ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、BCG、4種混合、3種混合、2種混合、
麻疹風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん

◆こども医療費助成の対象年齢の拡大

- 平成29年7月診療分から、通院助成の対象年齢を小学6年生から中学3年生に拡
充

◆育児相談支援体制の充実

- 「いずみまるごと子育て・健康応援事業」として下記の取組みを実施
 - ・訪問や電話による相談対応
 - ・乳児家庭全戸訪問

- ・産後ケア事業（医療機関での指導・相談）
 - ・産前産後サポート事業（助産師による訪問、相談交流会の開催）
 - ・両親教室、親子教室の開催
 - ・子育て支援アプリの導入
 - ・子育て世代包括支援センターの設置
- 子育て相談に応じるほか、保育サービスの情報提供等を行う「保育コンシェルジュ」を設置
- 子育て世代包括支援センターの設置

（基本的方向3）子育てと仕事の両立支援体制の充実

◆待機児童解消に向けた取組みの推進

- 保育所の定員増を図るため、既存園の改築への補助、認定こども園への移行促進及び新園創設を推進

<定員数> 平成31年度 3,517人（平成26年度比 437人増）

◆安全・安心な放課後等の居場所づくり

- 留守家庭児童会において、待機児童が生じないように、クラス増設等を推進

【基本目標Ⅱ】一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援

（基本的方向1）知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成

◆生涯を通じた学習活動の促進

- 下記施設において、指定管理者による各種講習講座を開催

- ・北部リージョンセンター
- ・南部リージョンセンター
- ・和泉市コミュニティセンター
- ・和泉市生涯学習センター
- ・和泉市生涯学習サポート館
- ・和泉市立青少年の家・槇尾山森林浴コース

- 文化協会の協力を得て、成人教室（琴・茶道・華道）を開催

◆まちづくりの活動を担う人材の育成

- 平成28年度に「いずみ市民大学」を開設

◆図書館機能の充実

- 5図書館（2館2室+にじの図書館）所蔵の書籍について、他の図書館所蔵の書籍も貸し出すことができるよう、システムでの一括管理を実施

【基本目標Ⅲ】健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進

（基本的方向1）定期的な健康チェックの推進

◆がん予防施策の推進

- 医師会、がん検診精度管理委員会と連携し、がん検診受診の啓発方法を検討
- 地域団体等からの依頼に基づき、健康教育を実施
- 医師会、がん検診精度管理委員会と連携し、検診内容を検討
- 受診率の向上を目指して、個別勧奨通知等による啓発を実施
- 検診の受診により付与するポイントを検診無料券に交換できる「健康づくりポイント」を導入

◆生活習慣改善の推進

- 国民健康保険加入者の特定健康診査の受診率向上に向け、はがきや電話による受診勧奨を実施
- 国民健康保険加入者を対象に、電話による勧奨や運動教室の開催、スポーツ施設利用型運動指導支援の実施
- 健康意識の高揚を図るため、「和泉市民健康まつり」を開催
- 市広報やホームページ、リーフレット、健康教育等を活用し、健康意識の高揚を図る

◆自主的な健康づくり活動の促進

- 健康運動指導士により運動のコツを伝える「ヘルシー運動教室」を開催
- 教室終了後も運動が継続できるようOB会の支援を実施
- 地域で健康づくり活動を推進する健康づくりボランティア「ヘルスアップサポーターいずみ」の養成及び活動支援を実施
- 「ココロいずみダンス」を制作し、普及・啓発を推進

(基本的方向2) 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進

◆高齢者の健康づくりの推進

- 市独自の介護予防体操「いきいきいずみ体操」の普及・啓発を推進
- 認知症予防のための生活習慣や認知機能を活性化する脳トレーニングの実技や講座を実施
- カフェボランティア等が運営するオレンジカフェにおいて、認知症サポート医による相談会を開催

◆生涯にわたり健康で活躍できる環境づくりの推進

- 老人クラブやシルバー人材センター等の活性化を図るため、補助金を交付し、各団体の活動を側面的に支援

【基本目標Ⅳ】 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

(基本的方向1) ものづくり産業の振興

◆ものづくり技術・商品開発の支援

- 主として製造業を営んでいる事業者を対象に、大学等との共同研究を行う場合の研究開発費用を補助
- 中小企業の課題解決等を図るため、和泉市産業振興プラザのコーディネーターに

よる企業訪問や相談対応を実施

◆ビジネスマッチングの促進

- 大阪府立大学への委託により、大学や市内中小企業等を対象とした、新商品開発や販路開拓に係るセミナー及び交流会を開催

(基本的方向2) 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出

◆空き店舗活用の支援

- 和泉商工会議所と連携し、創業希望者を対象に、創業支援セミナーを開催
- 上記セミナーを受講又は商工会議所にて個別相談を受けた方を対象に、創業時の家賃や改装費を補助

◆商店街活性化の支援

- 商店連合会への補助事業として、商店街店舗等へ中小企業診断士による経営相談等を実施
- 「和泉府中駅前イルミネーション」や商店連合会への補助事業として「いずみ音楽祭」や「木楽座ストリートのイルミネーション事業」等を実施
- 桃山学院大学や周辺企業と連携し、和泉中央駅前において、子供向けイベントである「おえかきまつり」等の各種事業を実施

◆産業集積の促進

- テクノステージ和泉やトリヴェール和泉西部地区において、工場の取得・新築・増築等を行った企業に対し、固定資産税の1/2を補助

(基本的方向3) 産業として成立する農林業の確立

◆新たな農産物の産地化促進

- (仮称)和泉市農業振興研究施設基本計画を策定し、令和2年度に設計業務に着手

◆6次産業化の促進

- 地方創生交付金を活用し、「和泉市6次産業化等戦略プラン」を策定
- 地方創生交付金を活用し、製品開発に取り組む

◆地産地消・都市農村交流の推進

- 地産地消をPRする各種イベントを開催
 - ・農林業祭
 - ・いずみふれあい農の里における子ども向けイベント
 - ・「ららぽーと」でのみかんイベント(令和元年度)
- 農業体験交流施設と道の駅が連携し、10周年イベントを共同開催

◆林業の再生に向けた木材のブランド化

- 「いずもくで建てよう支援事業補助金」の対象要件の拡大、上限額の引き上げ
- 「間伐材搬出事業補助金」を平成30年度に新設

(基本的方向4) 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成

◆中小企業の後継者育成

- 大阪府立大学への委託により、新技術開発等のためのセミナーを開催

◆農林業の担い手の育成

- 国の「農業次世代人材投資事業給付金」を活用し、新規就農者の経営確立を支援。
- 「和泉市農業担い手塾」を開催し、就農希望者者に農業技術を習得するための研修を実施

◆地域就労の支援

- 市内5箇所で無料職業紹介センターを開設。(本庁、シティプラザ、人権文化センター、南・北部リージョンセンター)
- 合同就職面接会や各種就労支援コーナーを設置する「就職情報フェア」を開催

【基本目標V】新旧の魅力が融合する観光の振興

(基本的方向1) 地域資源を活用した観光産業の振興

◆地場産業との連携による来訪の促進

- 「観光振興戦略プラン」及び「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を策定のうえ、観光振興の取組みを推進
- いずみの国観光おもてなし処において「いずみパール体験会」を開催

◆歴史遺産を生かした観光拠点の整備

- 池上曾根史跡公園において、トイレの洋式化や、看板の多言語化、Wi-Fiの整備等を実施
- 泉大津市や大阪府立弥生文化博物館等と連携し、「史跡池上曾根遺跡保存活用計画」の策定に向けて検討
- 和泉黄金塚古墳に案内板を設置
- いずみの国歴史館および弥生文化博物館等、泉州地域の8つの博物館で連携し、平成28年度に、各博物館にちなんだミュージアムカード「はくふだ」をそれぞれ作成し、来館者への配布を実施

◆外国人観光客の受入れ体制の強化

- 泉州地域の市町村が、広域的な連携により「DMO(KIX泉州ツーリズムビューロー)」を設立し、泉州国際マラソンを中心に、泉州地域全体での観光施策を推進。
- 上記「DMO」の取組みとして、海外のインフルエンサーを招致し、泉州地域の魅力についての情報を発信
- 久保惣記念美術館で外国語表記のパンフレットを作成するなど、外国人に対応できる環境を整備
- Wi-Fiを市内5か所に設置
 - ・いずみの国観光おもてなし(和泉府中)
 - ・久保惣記念美術館

- ・池上曽根史跡公園
- ・道の駅「いずみ山愛の里」
- ・産業振興プラザ

(基本的方向2) 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進

◆宿泊施設の誘致

- 要件を満たすホテル旅館を設置する事業者に対し、建築費・固定資産税・借地料・下水道使用料を補助

◆ミュージアムタウン構想の推進

- 「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を策定のうえ、取組みを推進
- 地方創生推進交付金を活用した事業を実施
 - ・パブリックアートの制作
 - ・特産品の開発
 - ・タウンマガジンの発刊
 - ・ツアーの開催 等
- いずみ市民大学で、パブリックアートの元となった収蔵品の紹介や美術の歴史や魅力にかかる講座を開催

◆榎尾川上流部の利用の推進

- 榎尾川上流部において、植栽・園路・広場・駐車場・トイレ等を大阪府が整備
- 大阪府の「笑働の森活動」に協力
- 「笑働の森事業」と連携し、南部リージョンセンターを拠点に「榎尾っ子まつり ×笑働の森・紅葉まつり」を開催

【基本目標Ⅵ】 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

(基本的方向1) 支援を必要とする人への相談支援体制の充実

◆地域包括ケアシステムの構築

- 地域包括支援センターや社会福祉協議会、医療機関、自治会等と連携し、介護予防や各種相談機能の強化に向けた取組みを推進

◆障がい者とその家族への支援体制の充実

- 基幹相談支援センターを中心に、サービス等利用計画やセルフプランの作成を推進し、障がい福祉サービス利用者全員の計画作成が完了
- 第4期及び第5期の「和泉市障がい者福祉計画」に基づき、地域移行の推進、地域生活の支援、就労及び就労定着の支援、相談支援体制や自立支援協議会の充実を図る

◆生活支援体制の充実

- 「くらしサポートセンター」を開設し、生活困窮者自立支援制度に基づく支援を実施
- 就労訓練事業（中間就労）や就労体験事業を活用し、一般就労が困難な方の意欲

の向上等を図る

○就職に向けた一步を踏み出せるよう、職場見学を兼ねたセミナーを実施

(基本的方向2) 安心して生活できる防犯体制の整備

◆防犯カメラ設置による安心して生活できる防犯環境の整備

○警察や地元町会等と調整のうえ、犯罪者の逃走経路となる幹線道路や小学校の通路等に防犯カメラを合計 444 台設置

◆連携による防犯体制の充実

○和泉防犯協議会及び和泉市安全なまちづくり推進協議会と連携し、子ども安全見守り隊や防犯キャンペーン、防犯講習、青色防犯パトロール活動を実施

◆防犯意識の醸成

○子ども安全見守り隊や防犯キャンペーン、防犯講習、青色防犯パトロール活動を実施

○平成 30 年度から、防犯ボランティア団体等が青色防犯パトロールを用いて実施する自主的な防犯パトロール活動に要する経費を補助

○毎年、小学校等を対象に防犯教室を実施

○地方創生先行型交付金を活用して防犯マップを作成し、保護者に配布したほか、市ホームページで公表

【基本目標Ⅶ】 災害に備える仕組みづくり

(基本的方向1) 地域における防災体制の強化

◆防災リーダーの養成

○防災リーダー養成講座を開催し、修了者を防災リーダーに認定（平成 26 年度～30 年度に 224 名を認定）

◆自主防災組織の結成及び活動の推進

○自主防災組織の設立や活動を支援するため、資機材や防災訓練用消耗品の購入費を補助

◆避難行動要支援者への支援体制づくり

○避難行動要支援者名簿の管理等について、地域の理解を得られるよう調整

◆外国人のための災害対策の充実

○多言語版の防災ガイドマップを作成（英語・中国語・韓国・朝鮮語）

【基本目標Ⅷ】 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

(基本的方向1) コミュニティの活性化と担い手の育成

◆市民交流の促進

○市民ラウンドテーブルを開催し、活動団体の交流機会を創出

◆市民活動の活性化支援

- 投票率の向上を図るため、申請団体との協働による周知活動（ちょいずフェスティバル等）を実施
- アイ・あいロビーにおいて、NPO等の活動を支援
- ◆コミュニティの維持及び活性化の推進
 - 「空家等対策計画」に基づき、空家バンク創設のほか、空家所有者に対する個別相談会等を実施
 - （独法）住宅金融支援機構との協定に基づき、空家バンク登録の住宅を購入された方を対象に、住宅ローン金利の引き下げを実施
 - 南部地域活性化を目的に、市街化調整区域や国道170号沿道において開発許可要件の緩和を実施

【基本目標Ⅹ】既存ストックの適正管理の促進

（基本的方向1）既存ストックの適正管理の促進

- ◆既存施設の長寿命化の促進
 - 公共施設の老朽化した設備の更新及び維持管理について、費用の低減を図るため、E S C O事業を活用
 - 施設の点検、評価等の均質化を図るため、劣化度判定マニュアルを作成し、マニュアルに基づく点検研修を実施
 - 建物や設備の修繕・更新について、優先度を整理
 - 橋梁及びに道路舗装について、修繕計画に基づき、国交付金を活用して修繕工事を実施
 - 老朽化木造住宅及び耐震基準を満たさない市営住宅の建替整備を実施
- ◆資産保有の最適化
 - 公共施設の効果的・効率的な管理をするため「公共施設等総合管理計画」を策定
 - 「富秋中学校区等まちづくり基本構想」を策定